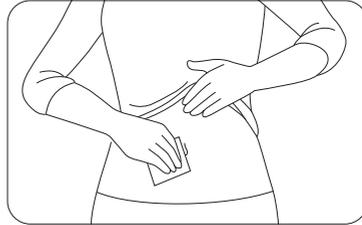
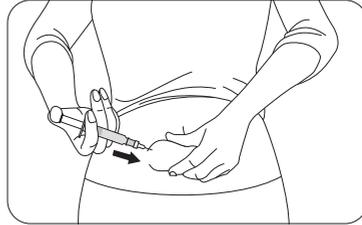


⑧ 皮下に注射

- (1) 注射器のキャップをはずし、注射部位をしっかりとつかみ、注射器を垂直もしくは斜めに立てて針を刺します。
- (2) ゆっくりと注射器を押して薬液を注入します。
- (3) 薬液を注入したら、ゆっくりと注射器を抜き、アルコール綿で注射部位を押さえ、絆創膏を貼ってください。



使用済みのアンプルや注射器、注射針の廃棄方法

- 家庭ごみに出さないでください。
- 医療機関の指示通りに廃棄してください。
- お薬が残ってしまった場合の処分の方法は、薬局や医療機関にご相談ください。

注射後のご注意

以下のような症状のうちいくつかが同じような時期に現れた場合は、重大な副作用の可能性があります。ただちに医師または薬剤師に連絡してください。

はき気、嘔吐（おうと）、下腹部の痛み、おなかが張る感じ、胸の痛み、激しい腹痛、足の激しい痛み、知覚のみひ、息切れ、めまい、冷や汗、血の気が引く、判断力の低下、意識がうすれる、息苦しい、動悸（どうき）、ふらつき、からだがだるい、ほてり、しゃがれ声、じんましん、眼と口唇のまわりのはれ、血管浮腫

【自己注射についてのお問い合わせ先】

R000029
2023年2月作成

- フォリルモン® P注 75/150
- HMG注射用 75単位[F]/150単位[F]
- 注射用HCG 5,000単位[F]/10,000単位[F]

自己注射を正しくおこなうために

監修：蔵本ウイメンズクリニック 蔵本 武志 先生
村上 貴美子 先生

お薬をご使用の前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、医療機関の指示に従って、正しくご使用ください。また、本書はいつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。このお薬はあなた個人用に処方されたものです。絶対に他の人に渡したり他の人と共用しないでください。

薬剤と溶解液について

お薬（粉）と溶解液（生理食塩液または注射用水）は、それぞれアンプルに入っています。

注射をするときはお薬を溶解液に溶かして使います。



お薬



溶解液

薬剤の保管方法

普段は冷蔵庫の中に入れて、清潔な状態で保管してください。

- ▶ 直射日光のあたるところ、自動車内など温度の高くなるおそれがあるところには、置いてはいけません。
- ▶ アンプルに書いてある「使用期限」を過ぎたお薬は使用しないでください。
- ▶ お薬は使用する直前に溶かしてください。
- ▶ お子様の手の届かない場所に保管してください。



自己注射のしかたは動画でもご覧になれます。

<https://www.fujipharma.jp/patients/gonadotropins>



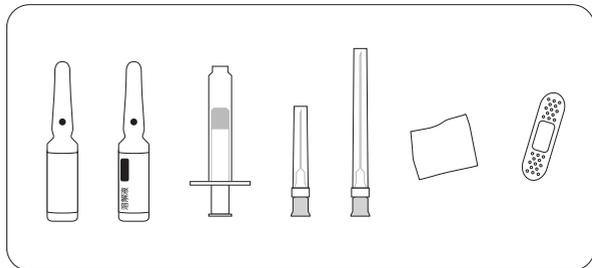
自己注射の手順について

注射を始める前に・・・

- 自己注射については必ず医療機関で説明を受け、十分理解した上でご使用ください。
- 注射をする際は担当医が指示した注射の量、回数を守ってください。
- 決められた時間やスケジュールに従って、忘れずに注射をしてください。もし注射を打ち忘れてしまった場合は担当医に確認してください。

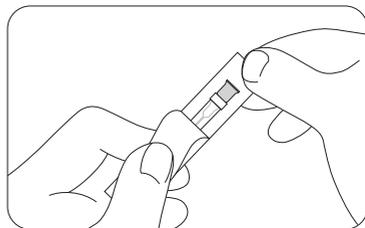
注射をする際に必要なもの・準備するもの

- 薬剤（お薬）と溶解液
- 注射器
- 溶解用の注射針
- 皮下注射用の注射針
- 消毒用アルコール綿
- 絆創膏（あれば）



① 作業場所の確保

テーブルなど明るく平らな場所で作業を行います。はじめにアルコールで消毒し、十分な広さを確保してください。



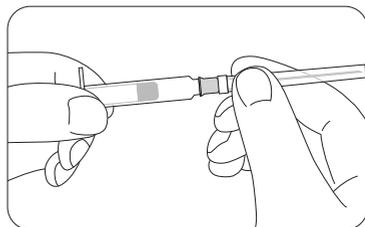
② 手洗い

せっけんで、手のひら、指の間、手の甲まで十分に手を洗ってください。

③ 注射器の準備

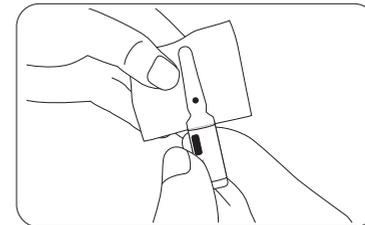
注射器と溶解液用の注射針を清潔に包装から取り出し、注射器へ注射針をしっかりと接続します。

このときに、接続部位を直接触れないようにしてください。



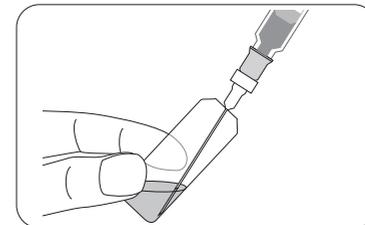
④ アンプルの開封

- (1) 溶解液アンプルと薬剤アンプルの上部に内容物が残っていないかを確認し、残っている場合は軽く指ではじいて落とします。
- (2) アンプルの周りをアルコール綿で消毒し、アンプルの●印に親指を当てて、そのままアンプルを折ります。



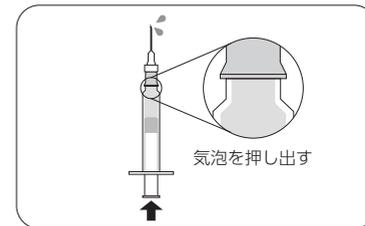
⑤ 溶解液を吸う

- (1) 注射針のキャップをはずし、溶解液アンプルを持ってなるべく空気を吸わないように溶解液を注射器に吸い上げます。



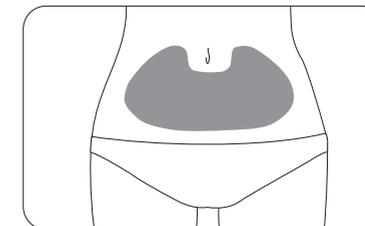
⑥ 薬剤を溶かす

- (1) 薬剤アンプルの中に溶解液を全量注入し、粉を完全に溶かします。
- (2) 注射器でなるべく空気を吸わないよう薬液を吸い上げます。
- (3) 注射器内に気泡がはいった場合は、注射器を2～3回はじき、上部へ集めた気泡を押し出して液が出ることを確認したら、注射針にキャップをします。



⑦ 皮下注射の準備

- (1) 注射器の針を皮下注射用の注射針に交換します。
- (2) アルコール綿で注射する部位を消毒します。注射部位は、おへそ下の皮下脂肪の厚いところに注射してください。



皮膚反応の発現頻度を低下させるために、注射する部位を毎回少しずつ変えてください。